

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																								
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~5日	3月 ~12日	3月 ~19日	3月 ~26日	4月 ~2日	4月 ~9日	4月 ~16日	4月 ~23日	4月 ~30日	5月 ~7日	5月 ~14日	5月 ~21日	
カンピロバクター	43	69	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	13	17	5	11	11	15	14	7	16	7	25	6	
病原性大腸菌	37	62	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	14	17	12	12	10	17	19	29	28	7	48 (3)	29	
腸管出血性大腸菌	0	0	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	
サルモネラ	7	5	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	1	0	1	0	1	0	3	3	0	0	2	0	
黄色ブドウ球菌 MSSA	25	20	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	3	5	2	3	2	2	0	8	2	6	7	1	
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	19	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	4	4	5	1	2	2	3	5	3	3	3	2	
腸炎ビブリオ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アデノウイルス	0	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
ノロウイルス	7	2	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	3	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第20週(5月15日~5月21日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5		2	1		2		
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	3	E型肝炎	1					1		
		日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	1					1		
五類	13	ウイルス性肝炎	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1		1					
		侵袭性インフルエンザ菌感染症	1					1		
		水痘(入院例)	1					1		
		梅毒	9					9		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.74人の報告があり、前週の約1.4倍に増加しました。

2 インフルエンザ

定点当たり4.71人の報告があり、再び増加傾向となっています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が5件報告されています。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
 第20週 A型:27人、B型:1人

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり2.46人の報告があり、増加しています。

その他にも、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎などが4月下旬から増加しています。新型コロナウイルス感染症の流行以降、多くの感染症の流行が抑えられていましたが、以前の水準に戻りつつあり、注意が必要です。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	増減		前週と比較しておおむね								
												急増減	増減		1:2以上の増減							
インフル	インフルエンザ	165	4.71	0.05	◇	小児科	ヘルパンギーナ	11	0.46	0.18	◇	急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減								
	新型コロナ(COVID-19)	61	1.74	◇	◇		流行性耳下腺炎	-	-	0.15	◇	増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減								
小児科	RSウイルス感染症	46	1.92	0.33	◇	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-	◇	微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減								
	咽頭結膜熱	19	0.79	0.51	◇		流行性角結膜炎	5	0.63	0.50	◇	横ばい	↔	ほとんど増減なし								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	2.46	1.31	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	◇	報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)</td><td>35</td></tr> <tr><td>小児科定点数</td><td>24</td></tr> <tr><td>眼科定点数</td><td>8</td></tr> <tr><td>基幹定点数</td><td>7</td></tr> </table>			インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35	小児科定点数	24	眼科定点数	8	基幹定点数	7
	インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35																				
	小児科定点数	24																				
	眼科定点数	8																				
	基幹定点数	7																				
	感染性胃腸炎	154	6.42	5.64	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-	◇											
	水痘	4	0.17	0.10	◇		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	◇											
	手足口病	4	0.17	0.50	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	0.03	◇											
伝染性紅斑	1	0.04	0.10	◇	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.11	◇													
突発性発しん	8	0.33	0.32	◇																		

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	49	80歳代・2人
4	E型肝炎	1	1	60歳代・推定感染地域: 国外
4	レジオネラ症	1	10	60歳代
5	ウイルス性肝炎	1	2	50歳代・B型
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	80歳代
5	水痘(入院例に限る)	1	2	60歳代
5	梅毒	9	102	10歳代・1人、30歳代・3人、40歳代・3人、50歳代・1人、60歳代・1人